

くすりと健康のはなし

## 薬包紙

第44回



一般社団法人岐阜県薬剤師会  
大垣薬剤師会

会長 松本正平

あけましておめでとうございませう。新しい年を迎えられたことを契機に、ちよつと薬局薬剤師としての初夢を見たいと思います。

——今日も患者さんが2枚の処方せんを持って薬局に来ました。処方せんに記載された検査数値を確認すると、ちよつと腎機能を示す数値が下がっていることが分かり、薬剤を減量してもらおうよう循環器の先生に問い合わせしました。また重複している薬もあつて、もう一つの処方せんを出された整形外科の先生にお薬の問い合わせを、必要の無い薬を省いてもらいました。その後、いつも買ひ物にいらつしやるお客さんは、今月も頼むねつて感じて簡易血液測定を行い、HbA1cや肝機能、中性脂肪を測り、数値は正常らしくいつものサプリメントを購入していただきました。

次にみえた患者さんは激しい胃の痛みを訴えてきました。バイタルサインを確認しながら、スイッチOTCの胃薬の購入を勧め、改善しないようならと消化器専門医への「紹介状」を書いて渡しました。その後、在宅医療の医師から届い

## 薬剤師の将来ビジョン

た麻薬処方せんを持って、在宅患者の元へ薬剤管理や介護相談を聞きに向かいました——

日本薬剤師会は2013年4月に薬剤師の将来ビジョンを発表しました。その中で薬局薬剤師は3つの約束をしています。1つは「セルフメディケーションの拠点として薬局機能を確立する」というもの。薬剤師によるトリアージ業務を行い、①一般医薬品の使用、②医療機関への受診勧奨、③生活指導のいずれかに振り分けて、患者に提案する業務を行うこと。

2つ目は「地域包括ケアシステムにおける薬局・薬剤師職能を確立する」として、積極的に在宅医療に取り組んでいくこと。

3つ目に「薬事衛生・公衆衛生における薬局薬剤師の地域における活動を強化する」。国民の健康支援拠点として機能していくことです。

まだまだ初夢の薬剤師のような体制にはなっていないませんが、その実現に向けて日々研鑽しています。健康づくり支援薬局、まちかど相談薬局、薬食同源サロンとなる薬局薬剤師に、あなたの健康を相談しに、ぜひ来てくだささい。